



2026年6月26日

各 位

会 社 名 株式会社エムアップホールディングス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 美 藤 宏 一 郎
(コード番号: 3661)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 総 務 経 理 部 長 藤 池 季 樹
TEL. 03-5467-7125

2027年3月期 通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年5月15日に開示いたしました、「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて未定としておりました、2027年3月期連結業績予想につきまして、下記の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2027年3月期通期連結業績予想について (2026年4月1日~2027年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	-	-	-	-	-
今 回 予 想 (B)	36,000	5,800	6,000	3,500	50 00
増 減 額 (B - A)	-	-	-	-	-
増 減 率 (%)	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	31,715	5,003	5,432	2,969	41 85

2. 業績予想公表の理由

当社グループは、2026年5月15日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、当社グループを取り巻く事業環境における短期的変化への対応、ならびに今後想定するグローバル展開の進捗に伴う初期的な収益見通しの不確実性に加え、さらなる成長加速に向けた事業構造の最適化に伴う組織再編を継続推進していたことから、これらが当連結会計年度の業績に与える影響を適正かつ合理的に算出することが困難であるため、通期連結業績予想の開示を差し控えさせていただいておりました。

上記の状況下、各施策の精査を継続する中で、今般、事業構造の最適化に伴う組織再編に関し、グループにおける経営資源の「選択と集中」の観点から、一部のノンコア事業について売却を含めた再編を行う方針を決定いたしました。

当該方針の決定に伴い、コア事業への注力による収益モデルの明確化、およびグローバル展開等を含む各施策の連結業績への影響度について、現時点で一定の合理的な算出が可能となったため、未定としていた2027年3月期の通期連結業績予想を公表するものであります。

3. 業績予想の概要

2027年3月期においては、強固な事業基盤である有料会員数の拡大に伴うストック型収益の増収効果を確実な利益成長へと繋げるべく、ファンクラブ全体の会員規模やアーティスト層の広がり、ポートフォリオの多角化に応じた収益構造の最適化に取り組み、利益率のさらなる向上に注力いたします。

これに加え、開発効率のさらなる追求に向けて外部パートナーとの連携を強化し、オフショア開発体制の活用を進めることで、システム開発費の増加抑制および適正化を推進してまいります。また、昨今のグローバルなインフラコスト（サーバー費用等）の上昇傾向や為替変動リスクに対しましては、インフラ基盤の効率化を進めるとともに、海外会員数の増加を通じて外貨収益の獲得枠を拡大させてまいります。これにより、外部環境に起因するドル建てインフラコストの上昇影響を多角的に相殺・抑制する構造的体制の構築を図り、グループ全体の強固なコストコントロールと底堅い収益性の維持を目指してまいります。

また、現在推進している、一部ノンコア事業の売却方針決定をはじめとした、事業構造の最適化に連動し、コア事業領域における意思決定の迅速化と経営資源の集中を図る体制をより強固なものとしてまいります。これにより、市場の伸びが著しい電子チケット発券およびリセール領域（公式トレード）のさらなる拡大や、ライブイベントと連動した高付加価値なECサービスの提供を加速させ、コア事業におけるファンエンゲージメントの最大化と、収益機会の着実な創出を並行して推進してまいります。

さらに、今後の持続的な成長基盤をより強固なものとするため、グローバル展開を加速させてまいります。具体的には、当社の連結子会社である株式会社Fanplusにおいて、経済産業省が推進する「コンテンツ産業成長投資支援事業（IP360）」に「ファンクラブ事業モデルの海外展開」が採択され、補助金の交付が決定いたしました。（詳細につきましては、本日公表いたしました「Fanplus、経済産業省「コンテンツ産業成長投資支援事業（IP360）」採択のお知らせ」をご参照ください。）本支援事業の活用により、当面の新市場開拓にかかるリソースを戦略的に補完・抑制しつつ、米国現地法人等を拠点とした海外ファンダム基盤の高度化や、日本のファンクラブ文化のグローバル展開への体制構築を進めてまいります。なお、これらは中長期的な海外収益枠の拡大およびグローバルなファン層の獲得に向けた次世代の成長基盤構築として位置づけており、一步一步着実な業績寄与を目指して推進してまいります。

<見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の経済情勢や、事業運営における環境変化、あるいは見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

以上